2015年3月27日㈮

VOL.7 第61号

横浜市テニス協会ニュース

YOKOHAMA TENNIS ASSOCIATION NEWS

発行 横浜市テニス協会 総務部 〒231-0028 横浜市中区翁町1-5-5 関内スクエアービル306号 TEL045-663-0557 FAX045-663-0558

—シングルス—

第39回 横浜市民体育大会テニス競技

◆目立つ若手の活躍、女子本戦では小中学生も◆

第39回シングルス大会は10月5日から始まりました。期間中何回か雨天に見舞われ、選手の皆様にはご迷惑をおかけしました。特に一般女子の選手の方々には数度の日程変更をお願いしましたが、皆様のご協力により、当初の予定通り12月23日に無事終了しました。

今回、一般種目では若い選手の活躍が目立ち、特に女子本戦には小学生、中学生の姿もみられ頼もしい限りでした。また、今大会から試合前の練習時間3分をサービス8本のみとしましたが、多少の戸惑いは見られたものの概ね選手の皆様にご理解をいただけました。

また、試合進行の効率化のため第3セットを10ポイントタイブレークにしたことに関しても一定のご理解をいただけたかと思います。これら新しい試みや当日中止決定をいかに早くお知らせできるか等々、今後、選手の皆様や大会関係者の意見を参考に検討を重ね、より良い大会としていきたいと思いますので宜しくお願いします。　（市民シングルス競技委員長　九鬼）

一般男子優勝 責任ある立場での優勝

小山 裕史（GODAIテニスカレッジ）

今大会の開催、運営に携わって下さった関係者の皆様にお礼を申し上げます。

去年は怪我により、不本意な結果で終わってしまっただけに、今大会は「優勝」する事にこだわり出場致しました。

初戦から決勝まで多くの方々から激励や声援を頂戴し、厳しい内容の試合もあったのですがプレーしていて本当に幸せで、楽しかったです。

優勝して当然と思われる中でも結果が残せた事は、正直嬉しいです。GODAIテニスカレッジの関係者の皆様のサポートが無ければ、この様な素晴らしい結果は残せませんでした。感謝の気持ちを常に持ち、「テニスの普及・育成・発展」に今後も尽力致します。ありがとうございました！

一般男子／小山選手（優勝）、竹中選手（準優勝）

一般女子優勝 さらに向上心を

萩森 千沙希（ウインザー）

まず始めに、本大会を運営してくださった関係者の皆様にお礼を申し上げます。また、日頃からサポートしていただいている周囲の方々にもこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

今回3度目の市民大会出場でしたが、2度目の優勝を飾ることが出来て嬉しいです。この大会を通じて経験したこと、感じたことを今後のテニスに活かせるよう、さらに向上心を持って取り組んでいきたいと思います。

一般女子／萩森選手（優勝）、小林選手（準優勝）

男子35歳以上優勝 集中力で掴んだ勝利

藤瀬 直樹（在勤）

初めて横浜市民大会のシングルスに出場させて頂きました。今年の6月に第2子が産まれ、育児が大変な中試合の応援をしてくれた妻にまず感謝したいと思います。

子育てや仕事が忙しく試合への準備を十分にできませんでしたが、限られた時間の中での練習やトレーニングはかなり集中して出来たと思います。その集中力が今回優勝という結果につながったと思います。

男子35歳以上／藤瀬選手（優勝）、伊藤選手（準優勝）

家族や仕事の方が優先になってしまうと思いますが、これからも体力と集中力が続くかぎり試合に挑戦していきたいと思います。

男子40歳以上優勝 辛勝！

小笠原 大輔（在住）

今回、シングルスでは初めて年齢別に参加させて頂きました。初日からマッチポイントを握られたり、セミファイナルではミスの少ない方が相手で、指や足が攣りそうになりながら逃げ切りと、厳しい試合の中何とかファイナルに辿り着きました。

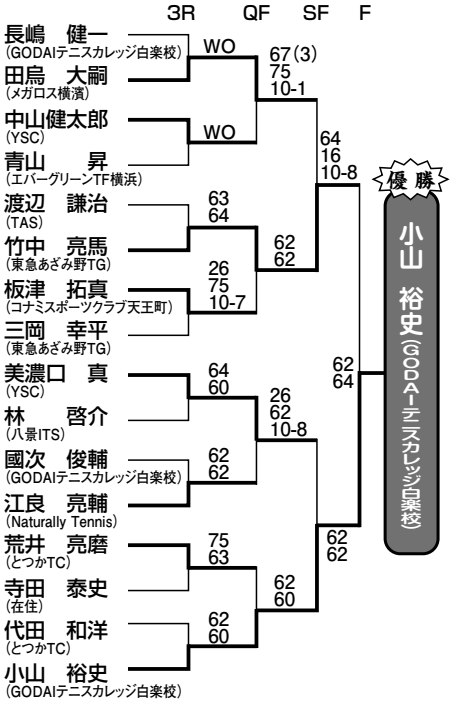
決勝では3時間半にわたり、技術的にも人間的にも素晴らしい選手との熱戦となりましたが、運も味方して勝利を収めることが出来ました。プレッシャーに弱い自分が数々の試合を通して次第にテニスを楽しめるようになった事も一つの要因だと思います。

日頃から練習にお付き合い頂いている方々、特にあざみ野ローン、KMG、松崎ACEゼミのコーチ陣にこの場をお借りして感謝申し上げます。

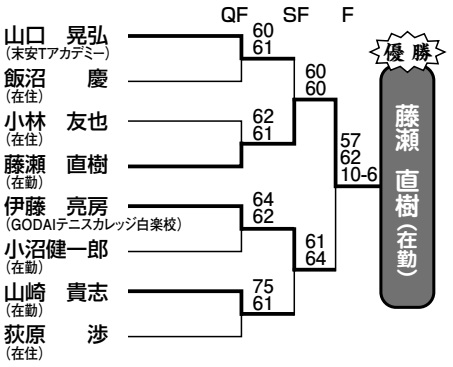
最後になりましたが、今大会を運営して下さった関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。有難うございました。来年も宜しくお願いします。

男子40歳以上／小笠原選手（優勝）、鳥海選手（準優勝）

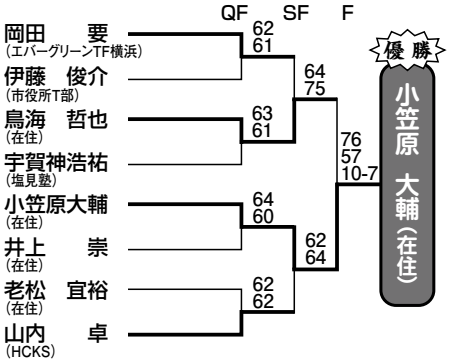
《一般男子》



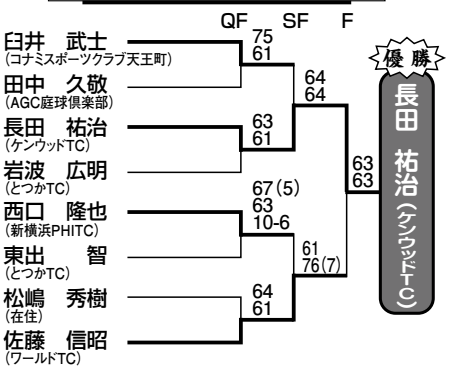
《男子35歳以上》



《男子40歳以上》



《男子45歳以上》



優勝おめでとうございます シングルス各クラス 優勝コメント

男子45歳以上優勝　THE市民大会

長田祐治（ケンウッドTC）

大好きな横浜市民、毎年楽しみに出場させて頂いています。横浜市民大会というのはエントリー数、レベルや大会の雰囲気など全国にも誇れる素晴らしい「ＴＨＥ市民大会」だと思います。こんな身近に腕試しが出来る場があるなんてとても幸せなことです。

私は19歳のときから出場させて頂いていて、毎年この大会を目標にしています。嬉しい思いも、悔しい思いも、今ではとても良い思い出です。最近は悔しい思いばかりでしたので、今回の成績は格別です。今後も身体の許す限り生涯、テニスを続けるつもりです。そして、横浜市民に出て一喜一憂したいと思います。

最後になりますが、運営に携わられた大会関係者の皆様、とても気持ち良くプレーさせて頂きました。感謝いたします。今後も宜しくお願い致します。

男子45歳以上／長田選手（優勝）、佐藤選手（準優勝）

男子50歳以上優勝　テニスができる喜びを再確認

金子信也（コナミスポーツクラブ天王町）

昨年ＱＦで敗れた時にアキレス腱を痛め約半年リハビリ治療を行いました。７月まで練習ができず市民大会に出場することもあきらめていましたが、練習を開始して練習を重ねるごとにテニスができる喜びを再確認し、ここまでの成果を試そうとエントリーしました。その大会で優勝できたことを大変うれしく思っています。

今回の優勝はリハビリをご指導いただいた先生、練習につきあっていただいたテニス仲間、応援していただいた方々のおかげです。

ベテランの部は技術・体力・精神力のレベルの高い方々が出られるので、怪我の教訓からしっかり体のメンテナンスをして他の方々と同じレベルで試合ができるようこれからも頑張っていきたいと思います。最後に大会運営の皆様に感謝申し上げます。大会終盤は非常に寒く本当に運営等大変だったと思います。ありがとうございました。

男子50歳以上／金子選手（優勝）、伊村選手（準優勝）

男子55歳以上優勝　楽しみながらプレー

宮島信行（亀の甲山TC）

先ず始めに、今大会の運営に携わった協会役員および関係者の皆様に感謝申しあげます。毎年大会に出場させて頂いておりますが厳しい試合をくぐり抜けたり、また、準決勝では同クラブの松田さんとの対戦があったりもしましたが、優勝できて嬉しく思っています。何時ものことながら自分のイメージ通りのテニスは中々出来ませんが、楽しみながらプレーするように心掛けています。

最後になりますが、結構わがままな練習かなと思いますが付き合ってくれているクラブ員や皆様に感謝すると共に、今後ともよろしくお願いします。

男子55歳以上／宮島選手（優勝）、斉藤選手（準優勝）

男子60歳以上優勝　試合優先のスケジュール

内海正雄（YSC）

まず初めに本大会を開催・運営して下さった協会の皆様に感謝申し上げます。8月のエントリーから11月の初戦までに間があることから、試合に参加したくても仕事、家事、体調不良等の理由から参加できない選手がいる中で最終日まで試合優先のスケジュールを組むことができたことはラッキーでした。

ベテランの試合は初戦から気の抜けない試合ばかりで、また準決勝、決勝は３セットマッチとなり２時間を超える戦いは体力と精神力が更に必要となります。そんな中、今回は幸運にも勝利の女神が微笑んでくれました。

ひとたび試合が終わればテニス仲間としてふれあいの輪が広がる、その点が本大会の意義であると思います。最後にこれまで貴重な助言を下さったり練習にお付き合いいただいたりの方々に、紙面をお借りして感謝の念を伝えたいと思います。

男子60歳以上／内海選手（優勝）、糸洲選手（準優勝）

男子65歳以上優勝　どうにか、成るさ…

鉢蝋　修（和泉TC）

体力の低下は著しく、体のあちこちは壊れてきています。今回、初戦ではギックリ腰を発病して数日後で有り、途中棄権も考えましたが、何とか勝ち上がり、その後は丁寧に返すことを心がけ、優勝することができ、大変嬉しく思っています。今後とも、頑張れば、どうにか、成るさ…で参加していきます。

男子65歳以上／鉢蝋選手（優勝）、大鹿選手（準優勝）

男子70歳以上優勝 棚から牡丹餅

淀川勝男（三菱重工横浜）

70歳以上の部の初年度に優勝できて大変うれしく思っています。今年の初めに肘を痛めしばらくテニスが出来ない状況が長く続きました。9月になってやっとテニスができるようになりました。テニスを始めてからこれほど長い期間テニスをやらなかったのは初めてです。一応優勝の目標は年初に立てていましたが肘の故障が長引き、半ばあきらめていました。

テニスが出来なかった期間、ランニングとジムでの筋トレを欠かさなかった事およびテニスが出来なくてもコートに行って仲間の練習を見、出来る範囲で球出しをやったことが功を奏したと考えています。

準決勝、決勝と棚から牡丹餅の勝利となりましたが優勝できたことを素直に喜びたいと思います。次回も出場し、二連覇目指し、1年間精進する所存です。最後になりますがこの大会の運営を行っていただいたテニス協会の皆様に感謝申し上げます。

男子70歳以上／淀川選手（優勝）、岡本選手（準優勝）

男子75歳以上優勝 最高齢者クラス

山本正之（TGレニックス）

とうとう今年から後期高齢者の仲間入りをし、75歳以上最高齢クラスでの参加となりました。区切りの大会で幸運にも優勝出来たことを大変喜んでいます。クラブのコート事情により、なかなかシングルスの練習が出来ない中、コートの空きを見つけて一緒に練習してくれた仲間の皆さんには心から感謝したいと思います。

このクラスでは最年少なので、試合には勝って当たり前というところなのかも知れませんが、80歳に手が届きそうな選手の皆さんが大変お元気に活き活きとプレーされているのには少なからず衝撃を受けました。歳を重ねてもこんなに元気でプレーを楽しんでおられる姿を拝見し、自分達もまだまだ出来るのかなあと希望が湧いてきました。

プレーをすることにより知らず知らずの内に足腰が鍛えられ、仲間の皆さんと楽しい会話をすることにより頭の体操にもなり、高齢者の健康のため、ひいては介護予防にも最適な“生涯スポーツ”それが“テニス”であることを改めて強く感じた大会でした。

男子75歳以上／山本選手（優勝）、有本選手（準優勝）

女子40歳以上優勝 息子一歳の誕生日に

綱川真弓（セサミスポーツクラブ大船）

はじめに、寒く雨降る中、大会運営をして下さった皆様にお礼申し上げます。一般の優勝から18年ぶりの優勝でした。大会を継続して下さる横浜市テニス協会に感謝いたします。

今回は、息子の一歳の誕生日ということもあり、記念にしたい気持ちも強く、苦しい状況でも勝利することができました。家事、育児を心よく手伝ってくれた主人の協力も大きかったです。ありがとうございます。私自身がチャレンジすることが、良い育児につながると感じています。これからもバランス良くテニスを続けていきたいと思います。

女子40歳以上／綱川選手（優勝）、川島選手（準優勝）

女子45歳以上優勝 4度目の正直

萩野一枝（在住）

まず始めに横浜市テニス協会員の皆様、また寒い中コートレフェリーをして頂いた皆様に御礼申し上げます。

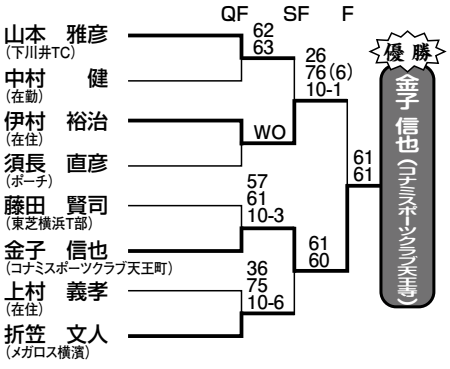
横浜市民のシングルスは3年連続準決勝で敗退でした。当初今年こそはという気持ちはありましたが、自分が練習してきた事を発表する場、ゲームメイクを楽しもうと考えるようになりました。大会が始まってからは、体力温存で練習を減らしました。

練習量が少ないことで、不安もありましたが、コーチのアドバイスやテニス仲間のおかげでよい練習ができ今回の結果となりました。また平成26年はダブルスも優勝することができ、市民大会を通じて多くの方と試合をさせて頂きとてもよい経験となりました。まだまだ未熟なことも多く、これからも少しずつですが、レベルアップして行きたいと思います。

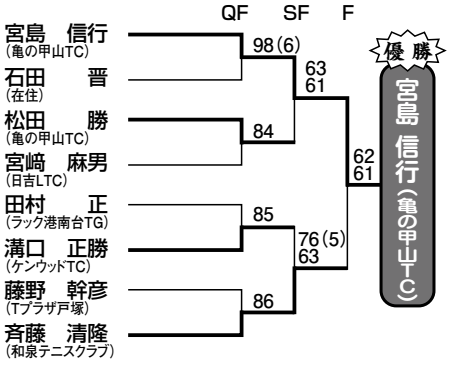
最後に、横須賀ダイヤランドテニスクラブ、NECテニス部、ソレイユ、金沢八景インドアの皆様、これからも楽しく練習をよろしくお願いします。

女子45歳以上／萩野選手（優勝）、松田選手（準優勝）

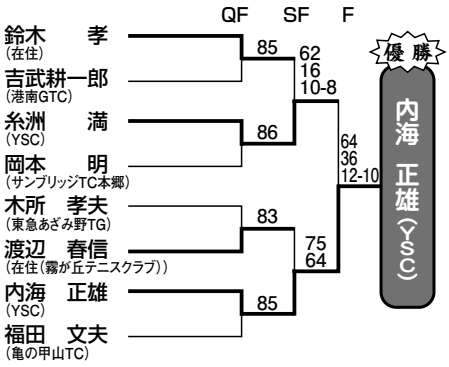
《男子50歳以上》



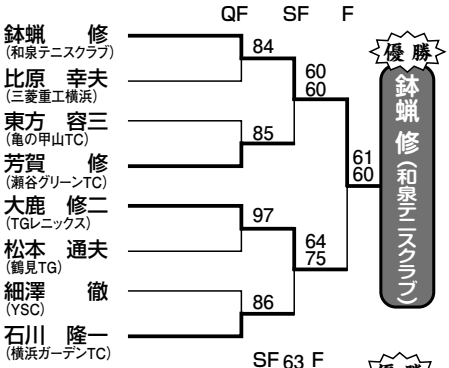
《男子55歳以上》

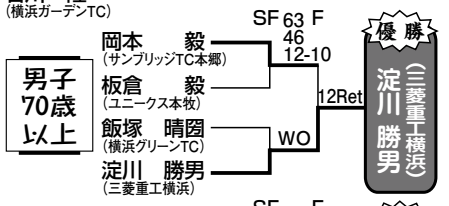


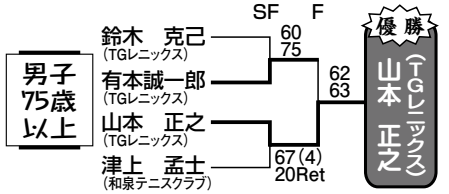
《男子60歳以上》



《男子65歳以上》







《一般女子》

	QF	SF	F
小林亜沙美（横浜ガーデンTC）	60		
二ノ宮裕未（在勤）	61	61	
小川　恭子（在住）	75	62	
小林ひかり（在住）	61		62
古川　聖奈（在勤）	64		63
内藤　裕子（八景ITS）	62	60	
坂野　文南（在住）	61	60	
萩森千沙希（ウインザーラケット）	60		

優勝　萩森　千沙希（ウインザーラケット）

女子40歳以上

	SF	F
山川　美和（和泉テニスクラブ）	63	
綱川　真弓（在住（セサミスポーツクラブ大船））	76(0)	61
平瀬　葉子（在住）	64	61
川島　美央（在住）	75	

優勝　綱川　真弓（在住（セサミスポーツクラブ大船））

《女子45歳以上》

	QF	SF	F
兼松　里衣（夢見会）	83		
岩上　良重（GODAIテニスカレッジ白楽校）		64	
松田美根子（サンブリッジTC本郷）	83	62	
會田美和子（在住）			61
花田加奈子（在住（YWP））	WO		61
篠原　恵美（横浜グリーンTC）		60	
丸山　啓子（在住）	83	61	
萩野　一枝（在住）			

優勝　萩野　一枝（在住）

女子50歳以上

	SF	F
鈴木裕美子（横浜ガーデンTC）	61	
望月　昌美（サンブリッジTC本郷）	60	60
松田　由紀（アレスマイスター）	63	62
山口　淳子（ウエスト横浜TC）	60	

優勝　鈴木　裕美子（横浜ガーデンTC）

女子55歳以上

	SF	F
赤澤　京子（和泉テニスクラブ）	61	
和田乃里子（亀の甲山TC）	62	60
寺本　尚子（Y球会）	75	63
大石　令子（Tプラザ戸塚）	64	

優勝　大石　令子（Tプラザ戸塚）

女子60歳以上

	SF	F
髙松ひさ子（サンブリッジTC本郷）	64	
東方久美子（亀の甲山TC）	00Ret	64
安達　啓子（エバーグリーンTF横浜）	76(2)	46
中嶋　幸江（瀬谷グリーンTC）	16	10-2
	10-1	

優勝　中嶋　幸江（瀬谷グリーンTC）

女子50歳以上優勝　3連覇、皆さまのお蔭

鈴木裕美子（横浜ガーデンTC）

はじめに　今年も横浜市民シングルス大会を開催し、運営していただいた関係者の皆様並びにコートレフェリーの皆様に厚く御礼を申し上げます。

寒い季節の大会ですが、初日こそ雨で順延となりましたがその後はお天気に恵まれ、決勝の長浜会場では真っ青な晴天にトンビが舞う下で爽やかにプレイすることができました。

年々対戦相手も手ごわくなり大変ですが、3連覇できたことを嬉しく思います。これもひとえにクラブで一緒に練習してくださいます方々のお蔭です。そして辛抱強く教えて下さるコーチのおかげと感謝の気持ちで一杯です。また来年の大会に参加できますよう更なるレベルアップを心掛けたいと思います。ありがとうございました。

女子50歳以上／鈴木選手（優勝）、山口選手（準優勝）

女子55歳以上優勝　感謝の気持ちでいっぱい

大石令子（Tプラザ戸塚）

初日は風が非常に強く打ったボールが流れてしまい、二日目は力が入りなかなか思うようなストロークが打てず、決勝戦では対戦相手のネットプレーが素晴らしく苦戦しましたが、このように優勝できましたことを大変うれしく思っています。

一緒に練習してくれた仲間や応援してくれた皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。最後になりましたが横浜市テニス協会の皆様、審判の皆様へ深く御礼申し上げます。

女子55歳以上／大石選手（優勝）、和田選手（準優勝）

女子60歳以上優勝　とっても嬉しい！！

中嶋幸江（瀬谷グリーンTC）

横浜市民大会年齢別シングルスに優勝することができて、とてもとても喜んでおります。決勝戦は昨年と同じ顔合わせとなり、展開も昨年同様最初から競り合いが続き、一進一退でした。

フルセットとなったのも昨年と同じでしたが、結果として勝てたのは気持ちの面で前向きを保持できたことでしょうか。決勝戦の日は所属クラブの忘年大会当日でクラブに優勝杯を持って帰ったら、大勢の仲間が祝福してくれて喜びも倍増でした。瀬谷グリーンテニスクラブの皆様、オーナー、支配人、シングルスの練習に付き合ってくれた「おじ様」方本当にありがとうございました。また、横浜市テニス協会の皆様大変お世話になり有難うございました。

30代半ばでテニスを始め、シングルスは10年ぐらい前から取り組みました。奥手のスタートですが、これからも精進を続けたいと思います。

女子60歳以上／中嶋選手（優勝）、髙松選手（準優勝）

テニスの日

平成26年9月23日（祝）に「テニスの日」イベントを、横浜市スポーツレクリェーションフェスティバル実行委員会と共催で新横浜公園テニスコート5面を使用し実施しました。ジュニアから一般まで幅広く、午前・午後合わせて約130名の方々に参加頂きました。

横浜市のトップクラスのプレーヤーや大学生プレーヤーの皆さんにコーチとしてご協力頂きました。前半は、テニスクリニックで技術向上の為の基礎的練習をしっかりやって頂き、後半は、お楽しみイベントで、コーチにゲームで挑戦頂いたり、サービスのスピード計測を行ったりしました。声援や笑い声で大いに賑わいました。最後に、お楽しみ抽選会も実施。今回も、参加された皆さんには喜んで頂けたものと思います。

平成27年度も同じく、9月23日（祝）に新横浜テニスコートで実施予定です。たくさんの応募をお待ちしております。7月後半には横浜市テニス協会ホームページ等で案内予定です。（相良）

第35回 横浜選抜室内選手権大会

テニスクリニック

第35回横浜選抜室内選手権大会は1月30日から2月1日の3日間、横浜国際プールで開催された。今大会のエントリーは全体で92名、ほぼ例年どおりであった。

試合結果は、一般男子シングルスは第1シードの小山（GODAIテニスカレッジ）が順当に勝ち上がり2連勝を飾った。また男子ダブルスは田中・中山（橘テニスアカデミー）が国体少年男子部門代表の齋藤・徳本（湘南工科大付属高）を下し初優勝。

女子シングルスは米原（筑波大学）が第1シードの高橋（湘南工科大付属高）を下し初優勝、女子ダブルスは萩森・中川（ウインザー・Naturally tennis）が林・橋詰（メガロス横濱）を下し初優勝、男子45才以上シングルスは須長（ポーチ）が第1シードを守り2連勝、同ダブルスは岩波・田中（とつかTC・AGC庭球倶楽部）が岩見・須長（ラウダ・ポーチ）のうまいテニスを力で押し切り初優勝、女子40才以上は相変わらずの強さでヘルナンデス・佐藤（荏原SSC・ミズノ）が8連勝を飾った。

また、恒例の抽選会もダンロップスポーツマーケティング、ブリヂストンスポーツ、ウインザーラケットショップの各社からの特別協賛としてラケットやテニスバックなどの豪華賞品の提供があり、観客の皆さんに大いに喜ばれた。

なお、今年は、長年のテニス技術向上に寄与された事に対する感謝の印として、清板伸一郎選手と、ヘルナンデス薫選手、佐藤芳香選手が表彰された。

一般男子シングルス

	QF	SF	F
小山　裕史（GODAIテニスカレッジ）	83	84	83
斉藤　聖真（湘南工科大学付属高校）			
前島　克哉（立教大学（川口市））	84		
田中　謙伍（橘テニスアカデミー）			
服部　悠吾（10 FILED TS）	84	84	
中村天之丞（サレジオ学院高等部）			
竹内　健人（荏原SSC）	82		
小谷野佑太（法政大学第二高校）			

優勝 小山 裕史（GODAIテニスカレッジ）

一般男子ダブルス

	SF	F
池田・河村（希望ヶ丘TC・ラック港南台TG）	82	86
斎藤・徳本（湘南工科大学付属高校）		
田中・中山（橘テニスアカデミー）	86	
土方・笠井（法政大学第二高校）		

優勝 田中・中山（橘テニスアカデミー）

一般女子シングルス

	SF	F
高橋　里佳（湘南工科大附属高校）	81	98(6)
萩森千沙希（ウインザー）		
玉井　沙英（フリー）	82	
米原　実令（筑波大学）		

優勝 米原 実令（筑波大学）

一般女子ダブルス

	SF	F
米原・玉井（筑波大学・フリー）	85	86
林　・橋詰（メガロス横濱）		
内藤・小林（八景インドアTS・SCザバス）	84	
萩森・中川（ウインザー・Naturally tennis）		

優勝 萩森・中川（ウインザー・Naturally tennis）

男子45歳以上シングルス

	SF	F
須長　直彦（ポーチ）	85	86
玉那覇　太（あざみ野ローンTC）		
長田　祐治（ケンウッドTC）	84	
高塚　浩文（テニスプラザ戸塚）		

優勝 須長 直彦（ポーチ）

男子45歳以上ダブルス

	SF	F
岩見・須長（ラウダ・ポーチ）	85	85
中嶋・玉那覇（横浜グリーンTC・あざみ野ローンTC）		
大浦・清板（ヨコハマクラブ）	81	
岩波・田中（とつかTC・AGC庭球倶楽部）		

優勝 岩波・田中（とつかTC・AGC庭球倶楽部）

女子40歳以上ダブルス

	SF	F
ヘルナンデス・佐藤（荏原SSC・ミズノテニスプラザ藤沢）	82	82
二瓶・萩野（横須賀テニスクラブ・在住）		
加藤・井上（SCザバス・エバーグリーンTF横浜）	97	
清家・佐々木（TAS・湘南ローンTC）		

優勝 ヘルナンデス・佐藤（荏原SSC・ミズノテニスプラザ藤沢）

第37回横浜地区クラブ対抗トーナメント

平成26年9月20日（土）、新横浜テニスコートにて実施

横浜ガーデンTC	52	52
YITC	70	
エバーグリーンTF横浜		
亀の甲山TS	52	43
サンブリッジTC本郷		
YSC		

優勝 エバーグリーンTF横浜

優勝：エバーグリーンＴＦ横浜、準優勝：亀の甲山ＴＣ

第21回 横浜ジュニアテニストーナメント

[高校生男子] 北岡選手、村田選手

[中学生男子] 照山選手、米田選手

[小学生男子] 加藤選手、森選手

過去最多の参加選手が熱戦展開

横浜ジュニア2015は、途中午後から雨が降った日を除くとほぼ順調に進み、当初予定通りの日程で完了した。過去最多参加者を更新、中高女子ではドローサイズが大きくなる中、寒さを吹き飛ばすような熱戦が続いた。

小学生女子は体力に勝る澤田選手が、粘る坂野選手を押し切って優勝した。また小学生男子は、加茂選手が持ち前のフットワークと身長を生かしたサーブで、運動量の多い森選手を振り切った。全般に小学生はラケットワークはすばらしいが、フットワークが自分のボールのスピードについていききれていないように思えた。

中学生女子は前川選手が、無駄な力の抜けた切れ味鋭いサーブと、クレバーなコースワークで、打力のある紫加田選手を寄せ付けず優勝、今後の成長が楽しみな選手だ。また中学生男子は、照山選手と米田選手の見応えのある打ち合いとなったが、要所を照山選手がおさえて優勝した。

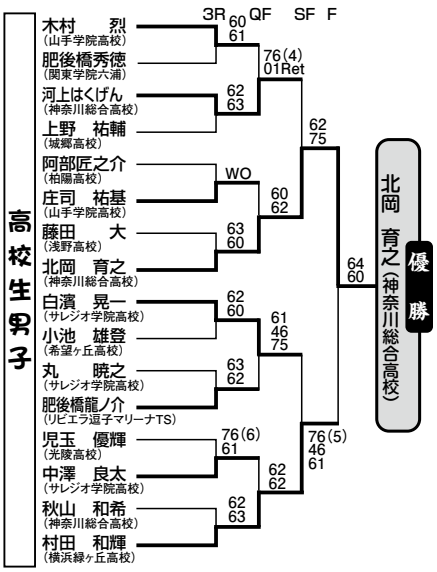
高校生女子は順当な上位シード同士の対決で、湯澤選手が安定した力強いストロークを生かし、動きの良い紫加田選手に打ち勝った。また、高校生男子は、北岡選手が持ち前の試合運びのうまさを見せ、前の試合で体力を消耗した村田選手を下した。今回高校生は足のけいれんを起こす選手が見られた。高体連の試合ではスリーセットの機会は少ない。寒い冬に備えた十分なウォームアップと、日頃からスタミナを養う努力が必要であろう。

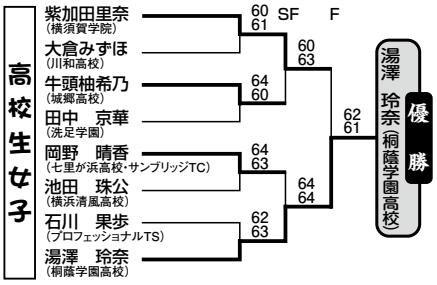
最後に、大会運営にご協力いただいた先生方、ありがとうございました。（近野）

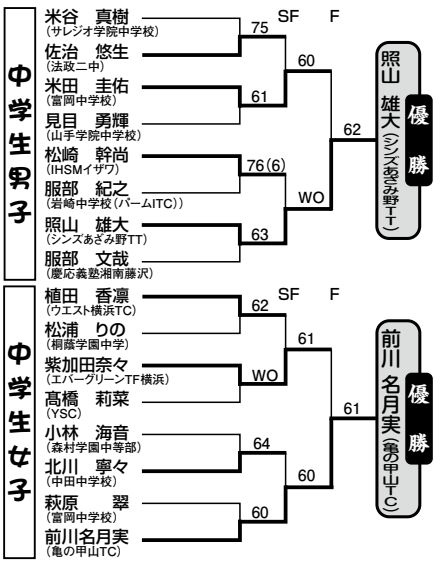
[高校生女子] 湯澤選手、紫加田選手

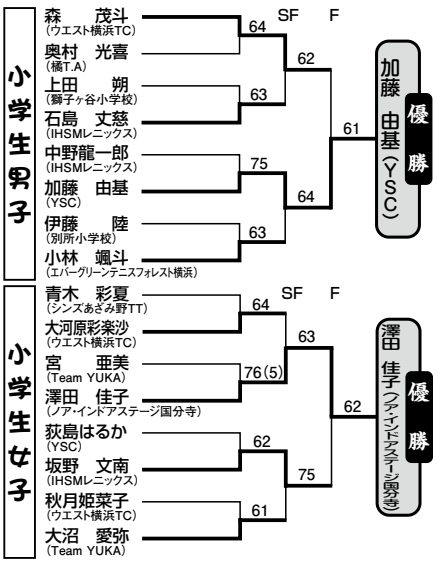
[中学生女子] 前川選手、紫加田奈々選手

[小学生女子] 澤田選手、坂野選手









市民テニス教室　平成２７年度は小学生、親子の参加も

平成26年度は、横浜市テニス協会主催、横浜市民局共催、（公財）横浜市体育協会後援で、例年通り本牧市民公園コート8面で実施しました。前年度は、天候に恵まれませんでしたが、今年度は、4月から10月までの計6回共天気も良く全て実施する事が出来ました。高校生以上一般まで合計230名の方に参加頂き、コーチと一緒に体を動かし、汗をかき、そして楽しんで頂けたと思います。

平成27年度は、横浜市テニス協会主催で、横浜市市民局と（公財）横浜市体育協会の後援を得て実施することとなります。参加費も増加となりますが、引き続き多くの方にご参加頂きますようお願いいたします。実施要領に関しては、更に多くの方にテニスの楽しさを味わって頂きたいと考え、初心者、初級者の方を中心に応募いたします。また、これまで参加枠を高校生以上としておりましたが、小学生からの参加と致します。親子での参加も大歓迎です。また、皆様に気軽にテニスに親しみ、楽しんで頂くために、「PLAY&STAY」を取り入れる予定です。

募集要領は、ハマスポ.com、横浜市テニス協会ホームページなどで確認できます。たくさんの応募をお待ちしております～。

第59回 横浜市実業団対抗テニス大会

⊙男子:図研が初優勝、女子:ウインザーBが2連覇

昨年8月から12月にかけて行われた第59回横浜市実業団対抗テニス1部リーグで、男子の図研が初優勝、女子のウンザーBが2連覇でした。下部チームの県大会参加期間短縮と大会のさらなる活性化のために、今までの男子8部制の2部～4部を今大会から2ブロック化することで全体を5部制に編成替えしましたが、参加チームのご協力のもと混乱なくスムーズに運営でき感謝しております。

第54回（女子第16回）神奈川県実業団対抗テニスリーグ戦では、男子:AGC旭硝子中研が優勝、女子:ウインザーが16連覇で、9月の関東実業団対抗テニスリーグで女子:ウインザーが3連覇し、10月に広島県で行われた第28回全国実業団対抗テニストーナメントに出場し3位でしたが、惜しくも2位までの日本リーグ入りが果たせませんでした。また、11月に行われた第77回神奈川県実業団対抗テニス大会（B大会）では、女子のウンザーBが優勝しAリーグに昇格となり、惜しくも男子の東芝京浜は2大会連続準優勝、東洋製罐は3位でした。第60回横浜市実業団対抗テニスは2月末から6月まで82チームが各部で熱い戦いを繰り広げています。（今年度の大会運営事務局はKIホールディングスです。1年間よろしくお願いします。）

【男子優勝コメント】

実業団加盟から最速で優勝！

図研テニス部

私たち図研テニス部は2010年に横浜市テニス協会の実業団に加盟し、当時は8部からスタートしました。そこから毎回昇格し、1部まで登りつめてそのままの勢いで優勝することができました。当時8部制の時に加盟してから4年での優勝は最速です！

勝因は、メンバーの「モチベーションの高さ」にあると思います。妻から試合出場の許可をもらうために、家族サービスでポイントを稼ぐ○黒さん。子連れ狼のごとく、ラケットを腰に差し乳母車を押して試合会場に現れるイクメン。アラフォーとは思えない肉体美を持つサーファー。ムードメーカーとして活躍する関西からの刺客。図研テニス部の快進撃はまだまだこれからです。今後ともどうぞよろしくお願いします。（山内知明）

横浜１部優勝の図研テニス部（男子）

【第59回横浜市実業団対抗テニス大会の成績】

（各部の優勝チームのみ記載）

●H26年8月～12月　参加82チーム（男67+女15）

●H26年度運営事務局：森永製菓

《男子優勝（部別）》	3部B：富士通エレクトロニクスA
1部：図研	4部A：旭硝子中研B
2部A：東芝京浜A	4部B：神奈川県庁ひまわり
2部B：ブリヂストンB	※5部：NECソリューションイノベータB
3部A：三菱重工横浜B	※5部：横浜銀行

※男子8部は2ブロック有

《女子優勝（部別）》	2部：旭硝子中研
1部：ウインザーB	3部：日立戸塚

★大会の結果については協会ホームページに詳しく掲示されています。

横浜１部と県B優勝のウインザーB（女子）

県B準優勝の東芝京浜（男子）

県B３位の東洋製罐（男子）

ねんりんピック栃木2014開催

テーマは「咲かせよう！長寿の花を栃木路で」

第27回全国健康福祉祭とちぎ大会（愛称　ねんりんピック栃木2014）は、マラソン、弓道、なぎなた、水泳、囲碁将棋等24種目が行われました。参加した都道府県、政令指定都市は北海道から沖縄県まで、テニスでは72チームになり、平成27年10月4日から7日まで四日間の日程で行われました。3日は移動日で横浜市の健康福祉局高齢健康福祉課生きがい係の担当者と、参加する全種目の選手とが一同に会し、健闘を誓いました。

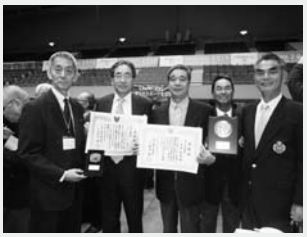
4日は総合開会式で、5日はいよいよ交流試合です。予選リーグは18ブロックあり横浜市はDブロックです。雨の為、7ポイント先取の変則タイブレーク戦となり、台風18号の影響で土砂降りの冷たい雨の中、お互いの体力と精神力とが問われる戦いでした。

結果は、広島市に3−0、秋田県に3−0、浜松市に2−1の3戦全勝で、Dブロック1位となりました。翌日の1位同士で行う決勝トーナメントは天候回復が望めないとの事で、中止と決定、テニス大会は終了宣言を行い解散となりました。ブロック1位のチームにはメダルが授与されるとして、後日送られて来ましたので、反省会の席で全員に手渡しました。

今回の参加メンバーは、男子70歳以上ダブルスに大崎眞、冨田力、男子60歳以上ダブルスに諏訪勉、高垣太志、女子60才以上ダブルスに西村悦子、高須賀志保子、監督に福田昇の7名でした。移動中や食事の時はテニスの話を楽しみ、試合では助け合い、励まし合い、チームワークよく乗り越えることが出来ました。

横浜市テニス協会では、ねんりんピックに出場する選手の選考会を5月頃に行っています。力試しを兼ねて多くの方に参加していただきたいと思っています。

（大会監督：福田　昇）



飛田敏男氏（右から３人目）

（公財）横浜市体育協会より表彰

平成27年新春スポーツ人の集いで、（公財）横浜市体育協会から、当協会副理事長の飛田敏男氏が長年の協会運営への功績が認められ表彰を受けました。

第14回横浜市民体育大会ミックスダブルス

次年度大会より「90歳・130歳の部」新設を検討

2月7日(土)～22日(日)の間で大会が実施されました。昨年はスタート時から2週連続の雪による影響で、6月までずれ込むという大変な運営でした。今年は直前の雪の積雪量が心配されましたが、大会への影響はなく順調に日程通り終了できほっとした次第です。

一般の部ではベスト4がすべてノーシードという波乱の結果で、年齢別に関しては新旧の見ごたえのある対決も見られました。今年は一般の部が大幅に減少し128組となったため、昨年まで試合の日程上仕方なく、一般の4R,5R,QFが1日3試合でしかも3試合目が3セットときつい試合をお願いしてまいりましたが、4R,QFの2試合となり選手にとっては良い方向になったと思います。今回、3セットマッチのファイナルセットのスーパータイブレークは採用しませんでしたが、来年度は採用したいと思います。また、一般ミックスの状況から90歳の部と130歳の部の新設を実現させたいと思います。

最後になりますが大会を運営していただいた理事の方、各区協会の方、横浜市テニス協会所属審判部の皆様ご協力ありがとうございました。　(ミックスダブルス競技委員長　飛田)

一般ミックス優勝　優勝あるのみで挑戦

鈴木健人(とつかTC)・下村恵那(東戸塚松原TS)

優勝が決まった瞬間は、それまでの緊張がとけ、達成感と高揚感、そして応援に駆けつけてくれた友人達の喜びの歓声が、本当に心地よく胸に響きました。今回の横浜市民は、優勝あるのみ、そんなモチベーションで挑みました。しかし初戦から一つも楽な試合はなく、決勝もフルセット。強豪揃いのなか、集中を切らさず優勝出来たことは、今までの大会で培ってきた経験を生かして、それを発揮出来た結果だと、嬉しく思うと共に、大きな自信にもなりました。

今大会を通じて、多くの方と知り合う事が出来たのも、テニスの楽しさの一つです。その輪を通じて、今後さらなる成長に繋がればと思います。最後になりますが、全試合を共に戦い抜いたペア、気持ちを奮い立たせる声援をくれた友人達、いつも練習相手になってくれる方々、ならびに、大会運営の方々に、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました！　(鈴木)

[一般ミックス] 鈴木・下村組、水野・山田組の各選手

100歳以上ミックス優勝　二人で攻める気持ちを忘れずに楽しんだ結果

古川治男(エバーグリーンTF横浜)・新美友紀(希望ヶ丘TC)

歴史ある横浜市テニス協会の大会で優勝できたことを誇りに思います。運営に携わっていただいた役員・関係者の方々には色々とご尽力いただき、良い環境でゲームに集中できたことを厚く御礼申し上げます。また日頃一緒に練習していただいているエバーグリーンテニスフォレスト横浜の会員の皆様にも感謝感謝です。皆さんに鍛えていただいた成果が出たのだと思います。

そして何より御礼しなければならないのはペアの新美さんです。ストロークにスマッシュにとさすがの大活躍。それだけではなく試合中に弱気になりそうな時に励ましてくれて立ち直ることができました。彼女とは4年前から組んでいますが初めての横浜市民大会でいきなりの好成績でまだ実感が湧きません。負けているゲームをひっくり返したり準決勝・決勝とフルセットの連続だったりと苦しいゲームはいっぱいありましたが二人で攻める気持ちを忘れずに楽しもうとしたのが良い結果にむすびついたのだと思います。ゲーム中に色々と勉強になる点も見つかりましたのでそれを課題としてまた来年も楽しんでプレーできるように練習に励みます。　(古川)

[100歳以上ミックス] 古川・新美組、佐藤・鈴木組の各選手

110歳以上ミックス優勝　二人の力で

飯沼哲也(Tプラザ戸塚)・山内文子(Tプラザ戸塚)

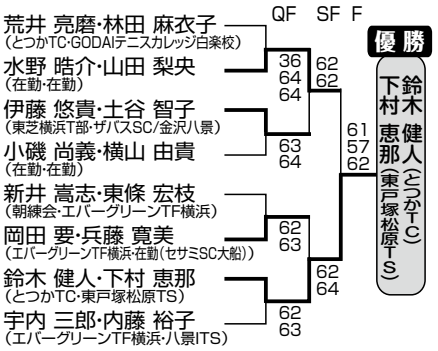
私達の年頃になると怪我、体調不良、身内の介護などテニスに集中出来ない事が色々あります。そんな中、組んで頂いた山内さんとはクラブで一緒に練習出来る時間も限られていますが、いつも一球一球真剣勝負、集中して練習する彼女の姿に私も頑張る力をもらっており、これが強敵揃いのベテランミックスの試合の大事な場面で生かされたような気がします。だんだん昔出来たプレーが出来なくなって来ましたが、二人でカバーし、話し合えれば戦えると改めて思った大会でした。

今回試合の度に応援に来て頂いたテニスプラザ戸塚の皆様、時間があればクラブで球出しして下さったHさんはじめ、練習して頂いたクラブの皆様、本当にありがとうございました。また、今は亡き友Hさん、ペアをいつも支えて頂きありがとうございました。

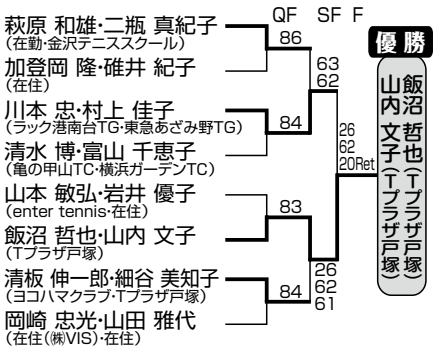
最後になりましたが、本大会を運営して下

[110歳以上ミックス] 飯沼・山内組、川本・村上組の各選手

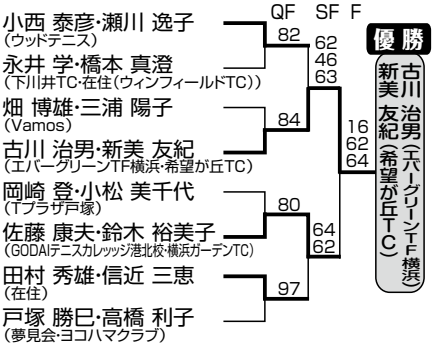
《一般ミックス》



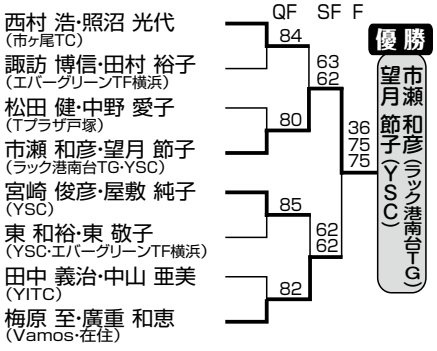
《110歳以上ミックス》



《100歳以上ミックス》



《120歳以上ミックス》



さいました横浜市テニス協会役員、スタッフ及び関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。また来年元気な姿でチャレンジしたいと思っております。（飯沼）

120歳以上ミックス優勝 3年ぶりのミックスダブルス参加

市瀬和彦（ラック港南台TG）・望月節子（YSC）

この横浜市民ベテランミックスでは、過去100歳以上・110歳以上での優勝経験があり、今回120歳以上でも優勝したいという強い思いでいました。

決勝戦では3時間という長い試合で苦しめられましたが、優勝できて大変嬉しく思っています。珍しく大会前に走り込みをしたため、なんとか持ち堪えることが出来ました。

３年ぶりのミックスダブルス参加で不安でしたが、ペアを組んでくださった望月さんの絶妙なボレーロブが勝ちに繋がったと思います。また、日頃から最年長の私と練習をしてくれるラック仲間たちにも感謝です。これからも、お相手よろしくお願いします。最後になりましたが、運営に携われた大会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。（市瀬）

【120歳以上ミックス】市瀬・望月組、梅原・廣重組の各選手

市民マスターズ大会

●優勝チームキャプテンのコメント●

恒例の横浜市民マスターズテニス大会が平成26年9月10日、山手公園で開催されました。錦織選手の全米オープンでの歴史的快挙の興奮冷めやらず、こちらのベテラン選手達も誇らしげに輝いていました。

抽選で4チームに分かれ、ミックスダブルス主体の対抗戦は熱戦続きとなりました。A、Dチームの全勝対決となった最終ラウンドも4勝4敗、獲得ゲーム数でAチームの優勝となりました。Aチームのキャプテンとして緊張の一日でしたが、サブキャプテン始め皆様のサポートに感謝しています。

なじみの方達との再会や初参加の方達の顔ぶれも毎回楽しみです。女性の参加者が定員割れの状況ですが、次回もテニス仲間お誘い合わせの上、多数の方の参加を願っています。最後になりましたが、毎年楽しい大会を開催して下さる横浜市テニス協会、大会関係者の皆様に御礼申し上げます。

（Aチームキャプテン崎村正雄・サブキャプテン柏木由利子）

◆第1回　秋のシニアテニス教室　開催◆

平成26年9月2日から8回、秋のシニアテニス教室を山手コートにて実施いたしました。第1回としては予想通りの申し込みがあり、春のテニス教室の知名度と春の教室でのPR等々の経験が活かされた結果であり、また春のテニス教室をこれまでに充実されてきた皆様のお蔭と感謝しております。コーチの布陣も春のコーチ陣のほとんどが秋も引き受けてくださり、当初より期待しておりました通り、皆様が充分満足されたようです。

期間中に何人かの方が見学にこられ、今回は締め切り後に知ったが次回の教室はぜひ参加したいとの意見をうかがっております。また参加された方全員が次回も参加したいとのアンケート結果も出ております。残念ながら平成27年の秋のシニアテニス教室はコート改修工事期間の為開催できなくなりましたが、次回をご期待いただきたいと思います。（飛田）

《参加者コメント》

「教室を終え感じた事」

藤岡裕子さん

山手公園でのシニアテニス教室のお知らせを目にした時にすぐ参加と決めました。と言うのも家の事情でしばらく遠ざかっていて、初心に戻りスクールに通ってみようと考えていた時でしたので、タイミング良く教室に通うことになりました。

４班に別れ毎回のきめ細かいコーチの指導で、あ、そうそう、そうだそうだ、なるほどと思いながらもなかなか上手くいきません。コーチのお褒めの言葉に気を良くし張り切り、失敗し、何とか無事終了することが出来ました。

テニス・ピアノは学校の先生がするものだと眺めていた幼い頃の自分を想い出します。そして今テニスが出来ることは楽しみの一つです。53歳から初め途中病気で中断、後期高齢者を迎えました。

折角楽しんで来たテニス、進歩はありませんが、続けられる限り努力してみたいと、この教室を終え強く感じています。そして友人も出来テニスを一緒にやりたいと言う方もおられ、うれしい限りです。これも教室のお陰と感謝しています。

又こういう企画ありましたら友人を誘い参加したいです。協会皆様のご活躍お祈りしています。

緑の協会テニススクール

好評開催中

平成２６年４月から、（公財）緑の協会主催のテニススクールが、本牧、清水が丘、長浜の３コートで実施されています。各会場ともベテランのコーチが親切にわかりやすく指導をします。テニスをうまくなりたい方、楽しみたい方は、是非ふるってご参加下さい。

●運営：横浜市テニス協会
●運営協力：ダンロップテニススクール
●スクール専用電話：080-4320-8870

好評連載 テニスプレーヤーのためのスポーツ医学 59

「錦織選手の飛躍に学んだこと」

日本体育協会公認スポーツドクター医学博士 及能茂道（きゅうのうしげみち）

錦織選手の飛躍は誰もの予測が追いつかない速さで、年間で最も進化したプレーヤーと認められ、ツアー仲間で最も警戒されるプレーヤーに成長しました。

私はウィンブルドンで錦織選手の試合の観戦を重ね、心技体の向上を見てスポーツドクターとしても学んだことが沢山ありました。

―ウィンブルドン観戦記―

我々テニス愛好者にとってウィンブルドン観戦は一生の夢ですが、錦織少年も「ウィンブルドンで勝てるような選手になりたい」という夢を抱いていました。

ウィンブルドンでの初勝利は、私が初観戦した2012年という意外の遅さでしたが、グラスコートの試合は少なく、シーズンも短く、常連も滑って転倒することもあり、若い世代は不慣れで不利とされています。

芝のコンディションは気象状況によって変化し、年々球足は遅くなっていますが、サービス優位の状況は変わりません。錦織選手がウィンブルドンで勝てるようになったのはサービスの向上に他なりません。

錦織ファンは、観客席をみると日本だけではなくアジア各国からの女性が多く、テニスをしないファンも多いのに驚かされました。私自身も観客席でウェーブに巻き込まれたり、服装やラリー中の歓声などのマナーを見ると聖地ウィンブルドンの品格が低下してきているのを感じ、残念に思った一人です。

―敏捷性と正確性―

テニスは身長の高いことが絶対的に有利な競技とは断定されませんが、世界トップ100の平均身長187cmの中で178cmと小柄な錦織選手のプレーは日本人の体格でも世界に通用することを実証し、日本テニス界の道しるべになってくれました。

哺乳動物では大型はパワーがあるものの動作は緩慢、小型は俊敏な動作がイメージされ、小柄な選手は敏捷なプレーが身上です。ゲームを勝ち抜く要素はパワーよりも敏捷性と正確性が重要と言えます。

サッカーのブンデスリーガで活躍した奥寺選手は錦織選手と同身長で、スピードと正確性で「東洋のコンピューター」の異名を授かりました。全米でのNY紙は「ケイは動きが正確で敏捷な最速のプレーヤー」と賞賛し、まさにコンピューターを髣髴させました。さしずめ日本流には牛若丸と称えられます。また連日の激戦の後にはマラソンマンと評価され、心肺能力の高さも立証されました。瞬発性と持久性が必要なテニスは日本人の体格に適しているのではないかと思えるようになりました。

―怪我はチャンス―

全米大会の直前も足底の膿胞で出場さえ危ぶまれた状況でしたが、過去に何度か怪我や故障で休場後の大会で好成績を挙げています。一般的に休場直後の試合では高い目標を掲げることなく、体調を確かめながら無理をせず一戦一戦臨みますので、無欲が好結果を生みだすと思います。

錦織選手は怪我や故障を負とすることなく、休養期間として余裕をもって弱点を見直し、前向きに練習やトレーニングを積んで好結果を生んできました。

―早熟タイプで体が悲鳴―

17歳からプロとしてツアーに参戦した錦織選手は早熟タイプの代表で、10代でトップ100入りした選手は近い将来トップ10入りすると予測されていました。

ジュニアのころは試合中トレーナーの処置を受けてリタイアするシーンが多く、本人も腰痛持ちと思っていたように体力が弱いと見受けられていましたが、ジュニアの体でツアーに参戦していたので筋肉が悲鳴をあげていたのでしょう。右足首の捻挫から始まり、ふくらはぎや太股、腹筋、背筋の痙攣や肉離れ、その後に股関節を痛めたり、肘や肩関節も痛めていますが、怪我や故障が他の部位に負担をかけて障害が連鎖する傾向にあったようです。

一般的に筋肉トレーニングは年間の身長の伸び率がピークを過ぎた年代から積極的に実施され、筋肉の痙攣や肉離れは筋肉トレーニングで克服されます。2年前から日本テニス協会のトレーナーだった中尾公一氏が帯同して体幹部のコアトレーニングなど地道な筋肉トレーニングを大会中も行って成果をあげました。体幹強化は上下肢のパワーを向上させますので、快足と優れた身体バランスを生み出しました。

―攻撃性を生む優れた身体バランス―

錦織選手はビッグサーバー対策としてレシーブ力を磨き、今ではベストリターナーと言われるようになりました。リターンを攻撃に変える身体バランスを作り上げ

第29回インターナショナルダブルストーナメント

【参加者募集中】外国人を誘って出場しませんか？

◎「日本庭球発祥之地」横浜にふさわしく、テニスを通じて国際親善を深める大会があるのをご存知でしたか。横浜市テニス協会も後援しています。外国人とペアを組んで奮ってご出場ください。

●期日:5月16日(土曜日)、5月17日（予備日）●男子ダブルス32組（神奈川県知事杯）・ミックスダブルス24組（横浜市長杯）になり次第締め切らせていただきます。都合によりエントリー数は予告なく変更される場合があります。●資格:ペアの少なくとも1人は日本国以外のパスポートをもつこと ●料金:1組8,000円（昼食込み）■開催場所・申込・問合せ先:横浜インターナショナルテニスコミュニティ（YITC）〒231-0862横浜市中区山手町230 電話045-681-9528、045-651-9121 FAX045-681-8731■申込締切:4月16日(木)午後3時 ■申込み方法:YITCのHP http://www.yitc.org からお申込みください。

新横浜テニススクール 好評開催中

（公財）横浜市体育協会主催のテニス教室が、新横浜テニスコートで実施されています。コートはUSオープンで使用されているものと同じサーフェスのデコターフです。優秀なコーチ陣のレッスンを受けてみませんか。

【実施概要】
- ○開催日：毎週水・金
- ○レッスン１：9:20～10:50
- ○レッスン２：11:10～12:40
- ○クラス：初級、中級
- ○コーチ：横浜市テニス協会推薦コーチ
- ○受講料：１期14,400円（8週）

★詳細は協会ホームページ（http://homepage3.nifty.com./yta1/）をご覧ください。

【問合せ先】横浜市テニス協会 TEL.663-0557 FAX.663-0558

協会インフォメーション

《平成27年度横浜市テニス協会行事予定》

- ◎4月4日～ 市民大会ダブルス開始
- ◎4月7日～6月 毎週火曜日市民シニアテニス教室
- ◎4月～10月の毎月第3日曜日(8月を除く) 市民テニス教室
- ◎5月7日 ねんりんピック選考会
- ◎5月 横浜市団体戦募集 7月5日開始
- ◎6月 市民大会親子ダブルス募集 8月9日開始
- ◎7月20日～8月15日 横浜ジュニア強化練習
- ◎8月 市民大会シングルス募集 10月11日開始
- ◎8月 市民マスターズ大会募集 9月9開始
- ◎10月 横浜ジュニア大会募集 1月4日開始
- ◎12月 市民大会ミックス募集 2月6日開始
- ◎平成28年1月 横浜選抜室内選手権大会
- ◎平成28年2月 市民大会ダブルス募集 4月開始

（平成27年2月26日現在）

横浜市テニス協会加盟団体内訳

営業クラブ	58団体
実業団	47団体
同好会	44団体
合　計	149団体

◇入会：YC＆AC Junior Tennis Academy（YC＆AC） H26年10月入会
◇退会：ソニーLSI
◇団体名変更：横浜球's →enter tennis

ホームページのご案内

★テニスに関する各種の情報を始め、大会の実施案内や日程等をお知らせするためのホームページを開設しています。掲載内容も、今後とも徐々に充実させていきたいと思います。
http://homepage3.nifty.com/yta1/

て攻守の立場を一球にして交代しています。N・ジョコビッチは「全てのショットが攻撃的」、R・ナダルも「ケイは攻撃的でどんな体勢からでも難しいショットを簡単に放つ」と評していますが、攻撃性を生むのは高い守備力があるからです。

R・フェデラーは「世界屈指の両手バックハンドで、彼にしかできないショットを放つ」と絶賛しているように、細かい速いステップで踏み込んでどんな体勢からもショットが打てるようになり、全てのショットが攻撃的になりました。フォアに回り込んだり、後退してスタンスを構えることが少ないので、ツアーでは走行距離が最短というデータもあり、疲労も少なくなり、今や世界のジュニアのお手本になっています。

―ナダル時代の幕引き―

2008全豪のハードコートでフェデラーに勝利してナダル時代の幕が開きました。その大会でナダルと対戦してセットを奪った錦織選手はナダルに「いずれトップ10に入る力がある」と言われ自信が芽生え、昨年のマドリッド大会の決勝でナダルを追い詰めながら棄権した試合の観衆の誰もが「ケイのテニスのほうが優っていた」と認めています。

ナダルを筆頭にクレーコート育ちのスペイン軍団はヘビートップスピンを駆使して走り回り、驚異的にまでフォアーに回り込んで強打を打ち込み、粘り倒すプレースタイルでしたが、体力を要するクレーコーターは錦織の出現で旧く見えるようになりました。錦織に完敗したD・フェレールは「No1になれる条件を全て持ち合わせている」と脱帽しています。

―空間と時間を駆使して魅了するショット―

A・アガシは「ケイは最もお金を払ってでも見たいプレーヤー」と評し、M・シャラポアは「試合展開のアイデアが豊富」と観客をうならせて魅了するショットを絶賛しています。子供の頃からアクロバティックなショットが好きで、如何に相手を走らせるかを考えて緩急自在にドロップショットやロブなど相手の意表をついたプレイで、まるでPCゲーム感覚の遊び心でテニスを楽しんでいます。予測力に優れ忍者のように次のポジションで待っています。スピードボールだけではなく、緩球でポイントをあげています。相手の配球を認知して、情報を脳で処理し、動作で表現するコォーディネーション能力が優れていて、空間と緩急の時間差を巧みに利用し持ち合わせたショットのバラエティーを選択する想像力のセンスは誰もの追随を許しません。往々にして第一セットを落とすことが多く、勝負所で実力差をみせつけて逆転に結びつけるのは精神集中力の強さもあるものの、試合開始直後は相手の出方を分析し戦略を練っていることが多いからとも思えます。

―勝たなければいけない重圧 ―

全米決勝のチリッチ戦は予想外の完敗と報道されましたが、前評判が錦織選手寄りだったこともあり、それまでの失うもののない挑戦者の立場ではなくなっていました。人間である以上心臓に毛の生えた強靭な精神力を持っているわけではなく、重圧による初めての緊張と見受けられました。

チリッチ選手はドーピング違反で長期にツアーを離れていてランクを下げていましたが、錦織選手としては苦手なタイプのビッグサーバーであり以前の全米で激戦をして実力を感じていました。また決勝までに体力を消耗し、睡眠不足など心身のコンディションの差が勝敗を分けました。それまでの試合のようにゲームを流したり、背面股抜きショットなどを繰り出す余裕がなく、劣勢時に戦略的にバスタイムブレークをとることもなくフェアーに敗退した姿は清々しくさえ見えました。

―社会現象と経済効果―

NHKや全国紙のトップニュースを飾ったり、NYの一般誌「タイム」の表紙の顔となるなど、今や世界中で最も知られた日本人となり、スポーツの力を感じさせました。関連会社の株価を上げたり、WOWOWの契約を著増させて有線テレビ時代の幕を開けました。NHKも視聴者の要望に応えて一般放送で生中継したり、試合経過をテロップで報じるなど全国民がテニスを見るようになり、テニスの面白さやいかに過酷なスポーツかを知らしめてくれたと同時に賞金額の低さも分ったのではないでしょうか。また13歳から育った米国最大のスポーツマネージメント会社の宣伝塔にもなりました。テニス愛好者も各地のATP大会の中継を楽しみ、四大大会以上に格式があるエリート大会のATPグランプリファイナルがあることなど非常に興味が高まりました。ATP1000の上海大会を見て、500大会しか開けない東京の会場施設の貧弱さが分り、五輪に向けて会場整備の必要性を示唆されました。この紙面の掲載写真は私が昨年のウィンブルドンで写したものですが、こんな撮影どころか、グランドスラム大会での直接観戦自体も容易ではなくなり、国内大会でも切符の入手が困難になることが予想されます。

―現実味を帯びてきたグランドスラム優勝―

日本の錦織から世界のケイになり、ツアーの看板選手として出場義務大会も増え、デ杯出場も余儀なくされ、更に多忙となりコンディション調整が難しくなり、今後はこれまで以上に厳しい戦いになるでしょう。日本の報道は視聴率至上で過熱し、メディアも真にスポーツ選手を擁護する立場でないのも気がかりです。

フェデラーやナダルは錦織選手の同年代では既に何回も四大大会で優勝を重ねており、錦織選手もそんなに若くない年になりました。選手層はスポーツ医学の成果もあって高齢化傾向にあり、トップ4もピークを過ぎているとはいえ世代交代は早いとばかりに錦織対策をたてて頑張っています。ランクを上げてくる若い世代は打倒錦織を目標に挑戦してきますし、相手に研究されるトップの宿命を背負わされます。ツアーのサーフェスは遅くなりボールも軽くなる傾向で、ますます厳しい体力を要するようになりました。

テニスは番狂わせの少ないスポーツで、ランク5位の家賃は高くなく、プライドもあり、どんなサーフェスにも対応力が高く、これまで目標限界を定めず、有言実行を果たしてきた錦織選手の優勝の期待が高まります。とはいえ過去にワンスラマーと呼ばれ一回の優勝で終わった王者も多く、一回優勝することさえ容易ではありません。